

12月2日(木)本校のグラウンドで、スタントマンによる交通事故仮想体験を取り入れた自転車交通安全教室が開催されました。生徒は交通事故再現や危険体験によって事故の「恐怖」と「痛み」を感じ、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践が大切であることを再確認しました。



傘をさしての運転は危険です。



事故の再現は迫力がありました。



車輪に巻き込まれる事故の再現。



生徒代表によるお礼の言葉。